

Red Hat Enterprise Linux ライフサイクル

EUS, AUS, ELSの考え方

Kazuo Moriwaka

Solution Architect, Red Hat

K.K.

2020-04-19

目的

EUS, AUS, ELSの利用有無を決めるための情報を提供する

概要

- RHEL 8の通常のライフサイクル
- 延長アップデートサポート(EUS)
- Advanced mission critical Update Support(AUS)
- 延長ライフサイクルサポート(ELS)
- 情報源

RHEL 8 ライフサイクル

RHEL 8からは、6ヶ月おきのマイナーリリース出荷と3年おきのメジャーバージョン出荷が宣言されています。

6ヶ月

マイナーリリース

3年

メジャーバージョン

RHELの標準的なポリシー

最新マイナー リリース

メンテナンス

問い合わせ対応

機能拡張リクエスト(フルサ
ポートフェーズ中)

旧マイナーリ リース

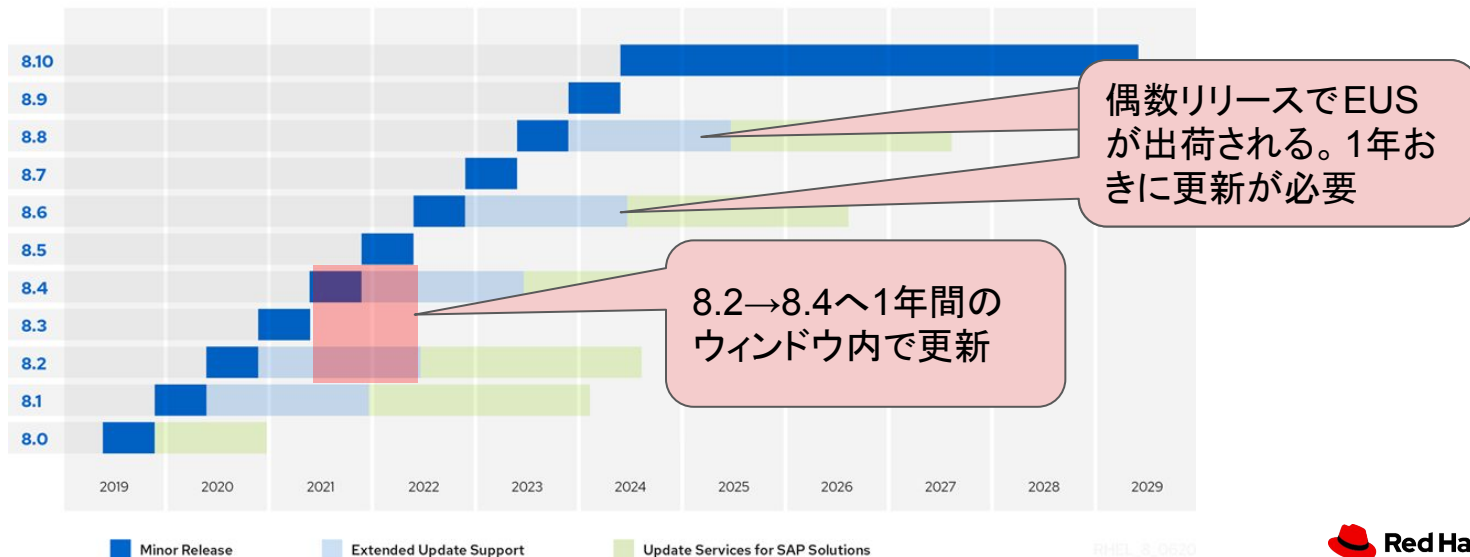
問い合わせ対応のみ
新規修正は不可

→ 脆弱性対応等が必要な場合は常に最新マイナーリリースを利用する

延長アップデートサポート (EUS)とは?

目的: Red Hat Enterprise Linux の新機能を利用する時期をお客様が柔軟に決められるようにすること

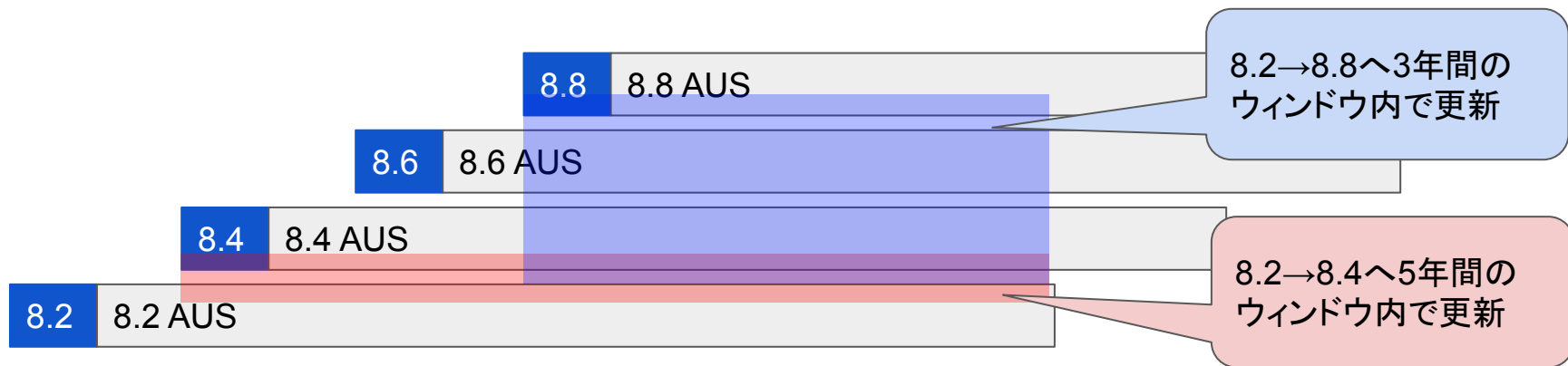
提供するもの: 特定マイナーリリースを最大2年メンテナンス (下図水色)



Advanced mission critical Update Support (AUS) とは?

※OEM限定の製品です。購入方法等はOEM各社にご確認ください。
提供するもの: EUSを4年延長し最大6年メンテナンス

移行ウィンドウをEUSでの1年からAUSでは5年に延長する
複数リリースのスキップも可



延長ライフサイクルサポート (ELS)とは？

目的: Red Hat Enterprise Linux のメジャーバージョンをどうしても移行できない場合の緊急避難として一部のみメンテナンスを提供する

提供するもの: 最新のマイナーリリースに対する、一部のサブスクリプションかつ、一部アーキテクチャかつ、一部パッケージについてのメンテナンスおよび原因調査

運用計画にELSの期間を算入しないことを推奨します。

2021年4月の時点でRHEL 7のELS期間は発表されていますが、サポート対象のパッケージなどは発表されていません。

ライフサイクルの日付

Version	General availability	Full support ends	Maintenance Support 1 ends	Maintenance Support or Maintenance Support 2 ends	Extended life cycle support (ELS) add-on ends	Extended life phase ends	Last minor release
Full support							
8	2019年5月7日	2024年5月31日	Not Applicable	2029年5月31日	TBD	TBD	8.10
Maintenance support							
7	2014年6月10日	2019年8月6日	2020年8月6日	2024年6月30日	2026年6月30日	Ongoing	7.9
7 (System z (Structure A))	2018年4月10日	2019年8月6日	2020年8月6日	2021年5月31日	Not Applicable	Ongoing	7.6
7 (POWER9)	2017年11月13日	2019年8月6日	2020年8月6日	2021年5月31日	Not Applicable	Ongoing	7.6

将来の日付はすべておおよそのもので確定していないため、今後変更される可能性があります。

一次情報



Red Hat Enterprise Linux のライフサイクル

概要

Red Hat Enterprise Linux バージョン 6 および 7

Red Hat は、Red Hat Enterprise Linux のメジャーリリースごとに、フルサポート、メンテナンスサポート、メンテナンスサポート 2、および延長ライフフェーズと称される 4 つのライフサイクルフェーズでサブスクリプションサービスを提供します。

- Red Hat Enterprise Linux のバージョン 6 および 7 の場合は、(とくに区別がない限り) フルサポート、メンテナンスサポート 1、メンテナンスサポート 2 のフェーズからなる 3 つの期間のサポートと、それらに続く延長ライフフェーズが提供されています。なお、Red Hat Enterprise Linux 6 のお客様は、延長ライフサイクルサポート (ELS) と呼ばれる年単位のアドオンサブスクリプションを購入すると、メンテナンスサポート 2 フェーズ(延長サポートフェーズ)と同等のサポートを受けることができます。

例外

- Red Hat Enterprise Linux バージョン 7 のライフサイクル期間中、Red Hat は、Red Hat Enterprise Linux for IBMi、Red Hat Enterprise Linux for Power LE (POWER9)、および Red Hat Enterprise Linux for IBM System z (Structure A) のリリースごとに、フルサポートフェーズ(メンテナンスサポート 1 または 2 フェーズ)と、その他の延長ライフフェーズのみ、サブスクリプションサービスを提供します。
- Red Hat Enterprise Linux バージョン 7 のライフサイクル期間中、Red Hat は、Red Hat Enterprise Linux Atomic Host のリリースごとに、フルサポートフェーズおよびメンテナンスサポート 2 フェーズ(メンテナンスサポート 2 フェーズは含まない)と、その後の延長ライフフェーズのみ、サブスクリプションサービスを提供します。

ライフサイクル



Red Hat Enterprise Linux バージョン 8

Red Hat は、お客様、パートナー様、印に付けるライフサイクルの計画と、Red Hat Enterprise Linux エコシステムの重要性を理解しています。Red Hat Enterprise Linux バージョン 8 の導入に伴い、4 つに分かれていた ELS の製品フェーズは、フルサポート、メンテナンスサポート、および延長ライフフェーズの 3 つのフェーズへと簡略化されました。また、リリース予定および延長サポートを提供するメジャーリリースに関する情報も提供しています。

- Red Hat Enterprise Linux バージョン 8 では、フルサポートおよびメンテナンスサポート 2 のフェーズのみを 3 つのフェーズと見なす必要はありません。延長ライフフェーズを使用します。Red Hat Enterprise Linux 8 のお客様は、メンテナンスサポート 2 フェーズの間に、既定のサブスクリプションサービスを延長する、延長ライフサイクルサポート (ELS) と呼ばれる年単位のアドオンサブスクリプションを購入することができます。

ライフサイクル

Red Hat Enterprise Linux のライフサイクル

<https://access.redhat.com/ja/support/policy/updates/errata>

Advanced mission critical Update Support (AUS) とは何ですか?

<https://access.redhat.com/ja/solutions/4319441>

Thank you



linkedin.com/company/red-hat



youtube.com/user/RedHatVideos



facebook.com/redhatinc



twitter.com/RedHat